

読書のすゝめ

その6 H 29 5 / 2

新任の先生紹介④
4回に分けて新任の先生方から「思い出の本」「おすすめの本」をご紹介いただきました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。ほとんど本校図書館で所蔵していますので、みなさん是非読んでみてください。また、今後も先生方からの「おすすめ本」について企画検討中です。ご期待ください！



石川 崇斎 先生（3年 年次付・英語）

『夜のピクニック』 恩田陸

2005年「本屋大賞」受賞作である恩田陸さんの「夜のピクニック」（新潮文庫）が思い出の本です。

高校生活最後を飾るイベント「歩行祭」。それは全校生徒が夜を徹して80キロ歩き通すという、北高の伝統行事だった。甲田貴子は密かな誓いを胸に抱いて、歩行祭にのぞんだ。三年間、誰にも言えなかった秘密を清算するために。学校生活の思い出や卒業後の夢など語らいつつ、親友たちと歩きながらも、貴子だけは、小さな賭けに胸を焦がしていた。このように物語が展開していく原作で、もう十年以上も前に映画も公開されていますが当時の多部未華子、石田卓也、郭智博、西原亜希、貫地谷しほりさんなど若手俳優とボランティア・スタッフ&エキストラとして撮影をご一緒させていただきました。



廣木 奈緒美 先生（1年6組担任・地歴）

『新世界より』 貴志祐介

「神栖66町」「国立国会図書館つくば館」など茨城の地名がもじられた地名が出てきます。1000年後の日本で人類が「呪力」という超能力を身につけていました。先行きが不透明な現代を生きる君たちにぜひ読んでほしいです。



5月新着(予定)図書から...

『車いす弁護士奮闘記』高田和己(きんざい)



4月の図書館利用状況

入館利用者数 362名と前年度より84名少ないのですが、貸出冊数は 83冊で、昨年の倍以上となっています。1年次生も14冊。3年次生は新書・問題集など「学習」を意識した貸出が多くみられました。



昭和61年4月の交通事故によって、私は車いすに乗るようになりました。この日以降私の人生は変わりました。——本書あとがきより——
苦難を乗り越えた車いす弁護士の奮闘記。実はこの方は東海村出身で、水戸桜ノ牧高校の卒業生。現在49歳。浪人中のバイク事故で車いす生活を余儀なくされましたが、入院中に読んだ国家資格の雑誌をきっかけに、法曹界をめざしたのです。

4月20日付の読売新聞にも記事が掲載されましたが、弁護士として難しい案件に、「依頼者にとっては一生に1度の重大事。命を救ってくれた医師、家族や友人、スタッフへの感謝を胸に仕事をすると語る高田さんの半生本に、苦難に負けない勇気がもらえそうです。